

令和5年度 シラバス

教 科	理科	科 目	生物基礎	学 年	第2学年	学 科 類 型	普通科理系
単位数	2 単位	教科書	生物基礎（数研出版）				
副教材	二訂版スクエア最新図説生物（第一学習社）、新編アクセス生物基礎（浜島書店） ネオパルノート生物基礎（第一学習社）						

学習目標	すべての生物は、細胞から作られています。授業では、まずは細胞の特徴や働きを学び、そこから生物の設計図である遺伝子につなげます。さらには生物の内的環境と外的環境にも目を向け、生物が日常的に行っている様々な反応について広く学習します。 生物基礎では生物や生物現象についての観察、実験を行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物に対する総合的な見方や考え方を養うことを目標とします。
------	--

キャリア教育の視点	学習内容と産業や技術とのつながりが強いこともあるので、教科書や図説の内容だけではなく、書籍やインターネット等を活用して、データを収集したり、科学の原理、産業への応用などについて調べたりして、理系の進路に対応します。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第1章 生物の特徴	生命現象を理解する基礎となる生物の特徴を学習し、生態系の多様性や生体内の現象を理解します。 また、私たちは、遺伝情報を保持し、その情報を次世代に伝えたり、タンパク質を作ったりしています。その過程を詳しく勉強します。	中間調査
	5月	第1節 生物の多様性と共通性		
	6月	第2節 エネルギーと代謝		
	7月	第3節 呼吸と光合成		期末調査
	8月	第2章 遺伝子とそのはたらき		
	9月	第1節 遺伝情報とDNA		
2 学 期	10月	第2節 遺伝情報の複製と分配	体内環境は常に維持されていて、外界から守ったり、細胞を保持したりしている仕組みを理解します。 また、私たちを取り巻く環境はどのような状態なのか、生物と非生物的環境について学び、理解します。	中間調査
	11月	第3節 遺伝情報の発現		
	12月	第3章 ヒトの体内環境の維持		
	1月	第1節 体内での情報伝達と調節		期末調査
	2月	第2節 体内環境の維持のしくみ		
	3月	第3節 免疫のはたらき		
3 学 期	4月	第4章 生物の多様性と生態系		
	5月	第1節 植生と遷移		
	6月	第2節 植生の分布とバイオーム		
	7月	第3節 生態系と生物の多様性		
	8月	第4節 生態系のバランスと保全		
	9月	<12月から物理／生物の選択科目へ移行>		

学習の方法	端末を利用した授業で教科書の内容を理解し、その後実験を行ったり、図表を活用したり、問題演習をしたりすることで、知識の定着を図ってください。 3年生での進路選択および科目選択を考え、学習を進めていきます。予習や復習など計画性を持ってしっかり学習に取り組んでいきましょう。
-------	--

評価の仕方	下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(知識・観察や実験の技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。 (1)授業への取組 (2)ノートの記載内容 (3)観察・実験等 (4)教科書・問題集の問題 (5)中間・期末調査
-------	--

備考	
----	--